



14時 文部科学省同時発表
岐阜県政記者クラブ加盟社各位



令和7年12月11日(木)岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	記念物保護係	長谷川 小林	内線 3147 直通 058-272-8759 FAX 058-278-2824
山県市教育委員会 生涯学習課	文化財調査室	村田	直通 0581-32-9008 FAX 0581-22-6851
富加町教育委員会 教育課	—	島田	直通 0574-54-2177 FAX 0574-54-2461

文化財の新規及び追加指定について

文化庁の文化審議会（会長 島谷 弘幸 氏）は、令和7年12月19日（金）に開催される文化審議会において、国史跡の新規指定及び追加指定を文部科学大臣に答申する予定です。今回の答申には新規指定として山県市に所在する「おおあざおおおがあざつばきの大桑城跡」、追加指定として富加町「ゆうだふんぼぐん夕田墳墓群」が挙がっています。今回の指定により、県内における国史跡の件数は33件になります。

記

文化財の種類	文化財の名称	文化財の場所
史跡	大桑城跡	山県市大字大桑字椿野4126番1 外15筆
	夕田墳墓群（追加指定： <small>ゆうだあざすぎぼら</small> 杉洞1号墳（墓））	加茂郡富加町夕田字杉洞167番7 外3筆 (追加指定対象地)

大桑城跡

- ・年 代：室町時代
- ・所有者：山県市 他
- ・面 積：4 4 3, 7 8 4. 0 0 m²
- ・概 要：

美濃国守護土岐氏により築かれた山城跡と城下からなる遺跡で、天文4（1535）年から同16（1547）年までの間、守護所若しくは土岐氏の重要な拠点として機能した。

大桑城は保存状態が良好で、伝「岩門」跡の巨石を用いた門や、居住空間として機能したと考えられる曲輪群、庭園跡が発掘された伝「台所」跡をはじめとする曲輪や防御施設が残る。

16世紀前半から中頃に機能した政治的空間と居住空間を備えた守護の拠点城郭であり、戦国時代における守護大名の本拠地の構造を知る上で重要である。



大桑城跡山上部航空写真



伝「台所」石垣検出状況

写真提供：山県市教育委員会

夕田墳墓群（令和4年11月10日史跡指定）

- ・年 代：弥生～古墳時代
- ・所有者：富加町 他
- ・面 積：1 2, 0 4 3. 6 3 m² (内追加指定6, 4 9 1. 0 0 m²)
- ・概 要：

夕田墳墓群は、富加町南東部の夕田地区に所在する、弥生時代終末期から古墳時代初頭にかけて築造された突出部付円形墳である蓮野1号墳（墓）・杉洞1号墳（墓）と前方後円墳である夕田茶臼山古墳の総称である。当該地区は大きな谷状の地形となっており、入口部の丘陵上に蓮野1号墳（墓）と杉洞1号墳（墓）が近接し、少し離れた最奥部の舌状丘陵突端部に夕田茶臼山古墳が立地している。今回追加指定となった杉洞1号墳（墓）は、直径約1.8メートルの円丘状の主丘部に長方形の突出部が取り付く、墳長約2.9メートルの突出部付の墳丘墓と推定される。



杉洞1号墳（墓）第2次調査



杉洞1号墳（墓）突出部遺物出土状況

写真提供：富加町教育委員会